



問合せ先 / 一般社団法人 日本造船協力事業者団体連合会 業務部
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財團第二ビル 3F
 TEL 03-5510-3161 FAX 03-3502-5533 E-MAIL gyo@nichizou.or.jp
 日造協HP <http://www.nichizou.or.jp/> の お問い合わせ からご連絡ください。
 BLOG 【安全ひろば】 <http://blog.canpan.info/nichizoukyou>
 まわりにスキルアップでお悩みの方がいたらご紹介ください！必ずお問い合わせください！

日造協 業務部 **FAX:03-3502-5533**
日造協 安全のプロ養成講座 応募用紙

| | | | | |
|--------------------------|---------------|-----|-----|---|
| 下記のとおり安全のプロ養成講座に応募いたします。 | | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな 氏名 | | | | |
| 所 属 | 事業所名 所在地 〒 | 連絡先 | — — | |

※正式な申込書は、後日郵送させていただきます。 必要事項を記入の上、FAX でお申込みください。

Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

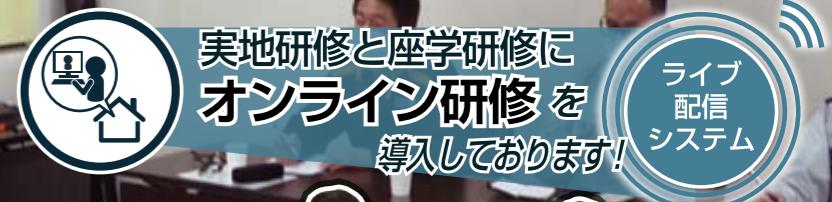
後援 国土交通省

第15期生 募集

造船の現場には、「安全のプロ」と呼ばれるような安全管理の要になる人材が必須ですが、現実は、団塊世代の大量退職などにより、非常に手薄になっています。

安全のプロを養成するには、徒弟制度のように、優秀な指導者がある程度の時間をかけて、現場実習も行いながらノウハウを伝授していく必要がありますが、これを一社ごとに行うのは時間とコストがかかり過ぎます。そこで日造協では、日本財團の支援を得て、この養成講座を用意いたしました。

災害が起こってから人材を養成するのでは間に合いません。あなたも今から入門して、一流講師の技を盗み取りながら自らの技を高めてみませんか。当講座では、各社の安全のリーダーとなるべき人材の養成、さらには業界のアドバイザーとなるべき人材の育成を目指しています。



現場リサーチのポイントや、安全講習を実施するための資料の作成のHOWTOや、講習の進め方のポイントなどを造船業の安全のプロが親身になって指導いたします！



2022年度 新たに5名の準アドバイザーが誕生しました！

日造協 安全衛生
アドバイザー

| | | |
|--------------------------------|-------------|-------------|
| 岩崎 喜久男 氏 | 林田 一英 氏 | 齋藤 龍彦 氏 |
| 徒弟制度担当 チーフアドバイザー 花園 春雄 氏 | 1期生 川本 泰了 氏 | 2期生 橋本 顯氏 |
| 3期生 伊藤 和幸 氏 | 4期生 堀田 賴銳 氏 | 5期生 池田 昌史 氏 |
| 6期生 荒井 智明 氏 | 7期生 次元 剛 氏 | 8期生 澤山 博輝 氏 |
| 9期生 平田 譲貴 氏 | 7期生 植松 兼万 氏 | 9期生 平田 譲貴 氏 |

必要なのはあなたの情熱だけです！
安全衛生管理のスキルアップを必ずお約束いたします！
プロを目指すも良し！自身の技量を高めるも良し！

準アドバイザー



ご負担なく受講



実地研修と座学研修に
オンライン研修を導入しております!



現場のアドバイザーが装着
したカメラ映像を送信

オンライン研修の特徴

- ライブ配信システムを導入し、アドバイザーが実際の工場等で行う現場でのアドバイスを、遠隔地にいる受講生にライブ映像でリアルタイムに配信します。
- 高画質カメラを使った臨場感のあるアドバイザー目線の現場リサーチを、ライブ映像で見ることでアドバイザーの着眼点などが学べます。
- 出張等をせずに効率的に研修を受けることができるため、課程を円滑に進めることができます。
- PCのほか、スマートフォンやタブレット等からも参加できます。



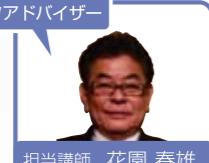
事務所のPCなど
から映像を閲覧



徒弟制度 座学研修 プログラム

座学研修は、概論、各論の全5教科からなる座学プログラムです。

- 概論1
- 1. 安全衛生スタッフの役割と心得
 - 2. 安全管理と企業責任
 - 3. 労働安全衛生法と関係法令
 - 4. 安全衛生パトロールのポイントとは
 - 5. 現場安全指導と管理監督者とのコミュニケーション



チーフアドバイザー
担当講師 花園 春雄



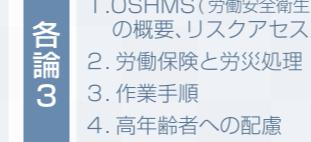
徒弟制度2期生
アドバイザー
担当講師 橋本 顯

造船業の安全に長年携わってきた経験豊富な日造協安全衛生アドバイザーによる講義で、専門性の高い知識を学ぶことができます。

- 各論1
- 1. 修繕船工事の安全衛生管理体制と役割、統括安全衛生管理
 - 2. 安全衛生点検 法定期検査義務事項・法定定期自主検査
 - 3. 墜落・転落災害防止
 - 4. 爆発・火災災害防止
 - 5. 酸欠・硫化水素災害防止
 - 6. 感電災害防止
 - 7. 挟まれ・巻込まれ災害防止
 - 8. 飛来落下(倒壊)災害防止
 - 9. 激突され(クレーン・玉掛け)災害防止



アドバイザー
担当講師 林田 一英

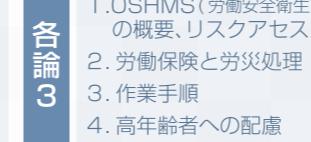


アドバイザー
担当講師 岩崎 喜久男

- 各論2
- 1. 危険予知訓練概論
 - 2. 危険予知訓練実習
- ※実地研修での受講となります。



アドバイザー
担当講師 伊藤 和幸



アドバイザー
担当講師 岩崎 喜久男

事業内容紹介

オンラインでの実地研修



研修は、実際の現場で行うことが原則ですが、コロナ禍において、養成課程に必要な規定回数の一部でオンラインによる参加を認め、現地に赴くことなく参加できるオンライン研修に対応しています。



ステップ1の6回の実地研修のうち、一部は、現地研修ではなく、リモートによる受講が可能です。

ウェアラブルカメラ等を活用し、アドバイザーの視点映像を撮影した内容をご自身のパソコン等で見ながら、効率的に受講できます。

事業場での実地研修



実地研修は、他事業所の工場等をアドバイザーとともに実際に見ることによって、アドバイザーの視点など多くのことを学ぶことができます。

造船所等をアドバイザーとともに巡回する実地研修では、現場でアドバイスするアドバイザーの様子を見ながら、プロの視点を学びます。



オンラインでの座学研修

(各論2は、実地研修での受講となります)

研修は、映像化された講義をオンラインで学ぶことができます。



内容が凝縮された講義映像で、効率的に知識を習得できます。

一方的に受講するだけではなく、講習中は、担当するアドバイザーが常駐するため、オンラインでリアルタイムに質疑応答やディスカッションなどを行なながら学ぶことができます。

徒弟制度受講者 相互勉強会 交流会

年に数回、徒弟制度に参加する受講者が一同に会する勉強会を開催しています。

